

Recherche 00023 マーガレットドレス仕様書

布帛用

パターンパーツ数 6

後あき(コンシールファスナー)有り

～付属品～

コンシールファスナー

スプリングホック

接着芯

サイズ		70	80	90	100	110	120	130
着丈		47.5	54	59.5	64.5	68.5	74.5	80.5
バスト		50	53	56	59	63	66.5	70.5
用尺	90巾	85	116	124	156	163	172	185
	110巾	85	93	100	107	112	137	155
ファスナー		27	28.5	30	32.5	35	37	40.5

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。  
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転  
売はご遠慮ください。

## ■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ コンシールファスナーは後あき寸より3 cm以上長いものを用意してください。

■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。

パターンにはステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

## ----- 作り方 -----

### 裁断・接着芯

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

前・後見返しに接着芯を貼ります。

ノッチ(合印)を入れます~各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます~

※ノッチとは、縫い代に0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

### ダーツを入れます



身頃のダーツ位置を中表に折り、「ウエスト側~ダーツ先」を縫います。

※ウエスト側から縫い始め、ダーツ終わりは端に沿うように縫い消し、返し縫いをせずに玉留めします。

前・後身頃の各ダーツ箇所も同様にします。



ダーツを脇側へアイロンで倒します。  
※アイロンの先を使ってダーツ先を馴染ませます。

プリーツを仮留めします

スカートのプリーツをたたみ、出来上がり線より縫い代側で仮留めします。



※前・後スカートとも同様にします。

身頃とスカートを縫い合わせます

身頃とスカートを中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックを縫い合わせた身頃とスカートの縫い代(2枚一緒)にかけます。



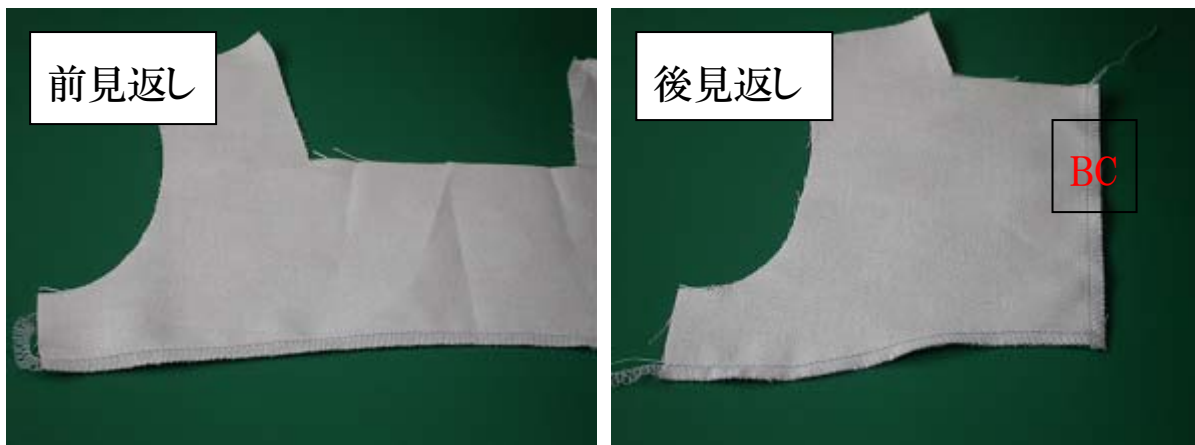
縫い代を身頃側に上げ、表からコバステッチをかけます。

※左右・前後身頃も同様にします。



空ロックをかけます

3mm切り落としながら5mm巾の空ロックを「前見返しの裁ち端」と「後見返しの裁ち端とBCの縫い代」にかけてます。



3mm切り落としながら5mm巾の空ロックを「BCの縫い代」にかけてます。

ファスナー付け ※あき止りより3cm以上長いファスナーを用意します

ファスナー付け詳細は Recherche サイトの仕様書「コンシールファスナーB」を参考にしてください。

※仕様書「コンシールファスナーB」の工程の最後に、ファスナーの両端を身頃の縫い代にそれぞれ縫い付ける指示がありますが省略します。(後で見返しと一緒に縫い付けます。)

見返しを付けます



「後身頃」と「後見返し」を**中表**に重ね、布端から 0.7cm の位置を直線ミシンで縫います。  
※身頃と見返しの布端を揃えて縫い進めます。



※そのままファスナーの一番下まで縫います。





BCで中表に折ります。  
※前の工程後、見返しをずらし、身頃の  
衿・袖ぐりと揃えると自然にBCで折ること  
ができます。(ファスナーの務歯の位置)

「衿ぐり」と「袖ぐり」を縫います。※SL側は出来上がり線で縫い止めます。



「前身頃の衿・袖ぐり」も同様にします。



SL

「衿ぐりの内角」と「袖ぐり」の縫い代に切り込みを入れます。



BCの縫い代(左画像)に切り込みを入れます。

前身頃のみ表に反し、アイロンをかけます。



表に反した「前身頃の肩紐部分」を後身頃に入れ(右画像)、SLの縫い代を揃えます。





「前身頃 SL」と「後身頃 SL」を直線ミシンで縫い合わせます。

「前見返し SL」と「後見返し SL」を直線ミシンで縫い合わせます。



「前身頃 SL の縫い代」のみアイロンで中に折り込みます。(※上画像)

前身頃を抜いて表に反し、SL を目打ち等で整えアイロンを  
かけます。



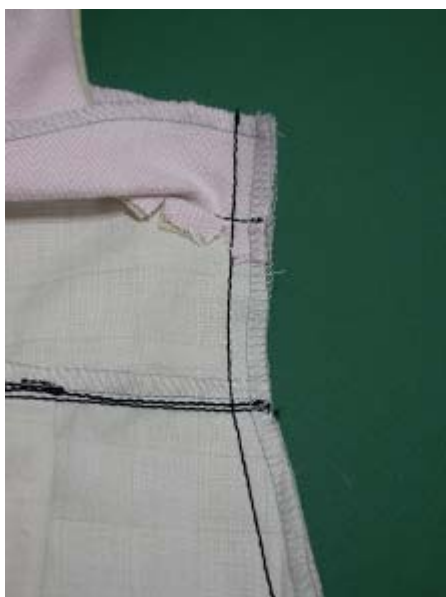
## 脇縫い



3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックを「見返し脇～身頃脇～スカートの脇」にかけます。

※見返しを上に乗せて縫い始めます。  
※袖ぐり脇の縫い代はどちらに倒してもかまいません。

※前後両脇も同様にします。



前後の身頃を中表に重ね、「見返し脇～裾脇」の出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

※ウエストリボンをつける場合は、挟み込んで縫います。

裾の縫い代を斜めに切り落とします。



「衿・袖ぐり」にコバステッチをかけます。

## 裾



脇の縫い代をアイロンで割ります。

3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックを「裾」にかけます。

※作動送り機能がある場合は縮めながらロックをかけます。



出来上がり線をアイロンで折り、ステッチをかけます。

## その他

「見返し脇の縫い代」を「身頃脇の縫い代」に縫い留めます。

ファスナーあきの一番上にスプリングホックを縫い付けます。

-----完成-----